

Syllabus Id	Syl.- 092533
Subject Id	Sub. - 092007000
更新履歴	090316
授業科目名	英語（選択：英語） English (English)
担当教員名	北條 健 (Hojou Ken)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年（H21）
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	選択制教室1

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

基礎的な英語力で理解でき、国際問題を扱っている教科書を使用する。生徒が親しみやすく興味を持てる内容を扱ったものを、関心をもちながら読むことによって、「楽しみながら」諸外国の事情を理解できるようになる。さらに化学・工業・医学分野の英文情報を採用し、その方面の語彙を増やせるようになる。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校1・2年生修了程度の基礎的な英語力。

学習・教育目標	重み	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D 英語による実践的なコミュニケーション能力を養成する。			
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

1. 英文の基本的な構造を再学習、再確認し、正確に内容を理解し、英文を読む力を養う。
2. 化学・工業・電子・医学等の基礎的な語彙を覚える。
3. 21世紀の情報化時代では、文字情報の急激な拡大とあいまって、それを的確に摂取する読解力を養成することがますます重要になっている。長めの英文を読むことによって、必要な情報を峻別する力と同時に、限られた時間内で的確に、素早く読み取る力を養う。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メ イ ン テ ー マ	サ ブ テ ー マ	参観
第1回	前期オリエンテーション、自己紹介	授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第2回	Unit 1 Immigration in the 21 st Century	先進諸国の労働者受け入れ	
第3回	Unit 1	Unit 1 の内容確認	
第4回	Unit 2 Breaking America's Dependency on Cars	自動車社会のアメリカの肥満対策	
第5回	Unit 2	Unit 2 の内容確認	
第6回	Unit 3 Providing Empathetic Medical Care	見放さない医療・内容確認	
第7回	Environment : Global warming	地球温暖化	
第8回	前期中間試験		
第9回	Unit 3	Unit 3 内容確認	
第10回	Unit 4 Aminish Country Stepping back in time	近代文明から離れて暮らす生活	

第 11 回	Unit 4	Unit 4 の内容確認	
第 12 回	Unit 5 The Christiana	小型救助船の役割と救助を支えた人々	
第 13 回	Unit 5	Unit 5 の内容確認	
第 14 回	Science and Language	科学と文学	
第 15 回	前期末試験		×
第 16 回	後期オリエンテーション	授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第 17 回	Unit 6 The past is not for overcoming, But accepting	悩める若者達へのメッセージ	
第 18 回	Unit 6	Unit 6 の内容確認	
第 19 回	Unit 7 Christian orphanages for Tsunami orphans	スマトラ島沖大地震とキリスト系グループの孤児救済活動	
第 20 回	Unit 7	Unit 7 の内容確認	
第 21 回	Unit 8 Conquest could not destroy its culture	観光地オアハカに息づく先住民族の文化	
第 22 回	Unit 8	Unit 8 の内容確認	
第 23 回	Technology : Telemedicine	テクノロジー ; 遠隔操作の医療への応用	
第 24 回	後期中間試験		
第 25 回	Unit 9 Providing empathetic medical care	見放さない医療	
第 26 回	Unit 9	Unit 9 の内容確認	
第 27 回	Unit 10 Growing old in Germany	ドイツの高齢者産業	
第 28 回	Unit 10	Unit 10 の内容確認	
第 29 回	The internet : Search Engines and SNS	インターネット : サーチエンジンと SNS	
第 30 回	後期末試験		×
課題とオフィスアワー			
授業中に指示する。			
評価方法と基準			
評価方法			
定期試験および小テストは、テキスト・配布プリントから主に出題する。授業中の活動・発表、課題提出、授業態度、学習意欲も評価する。			
評価基準			
定期試験・小テストの成績 - 50 ~ 60 %、平常点(活動・発表、課題提出、授業意欲) - 40 ~ 50 %、学習到達達成度自己評価 - 若干。			
教科書等	Reading in Focus: World Affairs Today 編集 石田雅彦他 桐原書店 Newsbreaks 著者 Kevin Klenz エミール出版		
先修科目	総合英語、英語W、英語C		
関連サイトのURL	http://nact-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/ ALC NetAcademy 2		
授業アンケートへの対応	見やすい板書を心がける。授業の目標を明確にする。状況(クラス的能力水準、学習意欲等)によって教材も進度も適宜変更する。		
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		